





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：唐澤 稔 副会長：清水吉治 幹事：平澤 理 公共イメージ向上委員長：宮下 健



2018-2019 国際ロータリーのテーマ  
**インスピレーションになろう**  
 BE THE INSPIRATION

2018-2019 RI会長  
 バリー・ラシン  
 パハマ  
 (ニュープロビデンス島)



**第1478回例会 平成31年1月22日(火)**

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 平澤理ソングリーダー

■ 会長談話 唐澤稔会長



日曜日の朝、久し振りの積雪で道路が薄化粧の状態でした。後に雨となりましたが、もう少しお湿りが欲しい今日です。現在空気が乾燥しインフルエンザも流行っているようです。体調管理には十分お気をつけて下さい。

日曜日は2つの会合が重複してしまい昼間からの宴席もありました。最初の会合でのお酒は我慢して、次の会合もお酌に周りでお酒は控えめにしました。夜は店も休日で久々に夜は“休肝”にしました。

さて話は変わり、新聞報道でもご存知の通り、昨年4月の市議員選挙での無投票を受け、魅力ある議会づくり検討会が開催されました。その中で議員の成り手を増やす為、議員報酬を上げたかどうか。という意見がありました。市民感情を考えたら難しいのでは？と思いますが、20年くらい昇給がされていない議員報酬ですので検討する余地があると思います。その後、「定数」「報酬」「関心」の3点に絞って議論を重ねました。決議事項とし、毎年開いている市民との意見交換会の開催方法の見直しや、委員会のインターネット中継等を今後実施する事が決まりました。

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤稔 腰痛とインフルエンザに気を付けましょう。
- ◆池田幸平 本日は職業奉仕のクラブフォーラムです。先週「I.M.」今週「職業奉仕」来週「I.M.」と私が主役で酷使して頂いて、執行部の皆さんに感謝申し上げます。
- ◆井上修 社長交代の記事を信毎がスクープして、あちこちから反応がありました。お前もう終わりだねと捨てぜりふを言ってくる方や、お祝いを言ってくれる方や様々でした。そんな中、ロータリー事務所から豪華な蘭が届いたり、池田さんから額面50万円の手形が届いたり(不渡り手形でしたが)という夢を見ました。  
 1月27日(日) 13:00~15:20かんでんばば西ホール、上甲晃氏・大塚貢氏の講演に是非ご参加下さい。パンフレット手元にあります。
- ◆事務局・武井 ぎっくり腰をやってしまいました。こんなにも動けないものかと自分でもビックリです。例会お休みさせていただきます。ご迷惑をお掛けしてすみません。

■ 幹事報告 平澤理幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

・1月18日（金）上伊那グループ会長・幹事会の報告 田中洋ガバナー補佐



1月18日（金）海老屋料理店にて上伊那グループ会長・幹事会の報告がありました。

○議事

- ①上期事業の進捗状況と下期事業の取組について
- ②会員増強の現状と今後の取組について
- ③地区への要望・質問
- ④I.M.について
- ⑤その他
- ⑥講評（第2600地区ガバナー 伊藤雅基様）

特に会員増強の現状と今後の取組についてですが目標まで後4名です。ご協力をお願いいたします。I.M.については多くの会員の皆様の参加をお願いして参りました。

・親睦旅行の案内 原一馬親睦活動・友好委員長



親睦旅行に参加される皆様には旅程表を配布してあります。予定表の通り乗車して頂きます。少し早めに乗車場所へ集合して頂けるようお願いいたします。旅行代金については後日精算させていただきます。車内での飲食持込、歓迎いたします。

## ■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者27名 事前メイク4名  
出席率81.58% 前回出席率 修正なし

## ■ クラブフォーラム

「職業・社会奉仕委員会」

池田幸平職業・社会奉仕委員長



「ロータリーの友」1月号 RI会長のメッセージにもあります、職業を通しロータリーの理念を実践するのが「職業奉仕」です。様々な業種が集い情報交換して行く中で、自分の職業に少しでも役立てて頂きたいと思えます。今年のテーマは会員の職業を良く理解する事であります。本日2名の卓話を企画しています。宜しくお願いします。

会員卓話 池上幸平会員



今年は廃棄物処理業界にとって、どういう年になるか？新年早々、残念なお話ですが、今年は廃棄物処理費が値上げの年になると思えます。新聞やテレビでご存知の通り、昨年かつて「世界の工場」といわれた中国が「リサイクル原料」の受け入れを全面的に禁止しました。代表的なのは「リサイクルプラスチック原料（ダンボール・鉄・廃家電）」です。これまで「作れ！作れ！品質は二の次！質より量！それこそがメイド・イン・チャイナ」とう国策のもと、ゴミでも何でも輸入して材料に加工し、様々な製品を作り上げてきました。これもある意味では立派なことですが、一方で「世界のごみ箱」とも言われた中国。現在、アメリカに次ぐ超大国となり、世界をリードする立場に成ろうとしています。しかし、先進国の義務とも言える「環境政策」が遅れていた中国。一気に「リサイクル原料」受け入れ禁止に舵を切りました。その結果、日本をはじめとする先進国から輸入されていた、比較的上質な「リサイクルプラスチック原料等」がほぼ全て禁止になり、日本国内の廃棄物処理施設を圧迫

しているという現状です。

これまで日本も中国に依存し過ぎていたことも事実ですが、国内で吸収できるキャパを超え、それらが産業廃棄物として、私どもの処理業者に多く持ち込まれるようになってきております。「持ち込まれるだけなら儲かるのでは？」と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、私どものような「中間処理業者」と言われる処理業者は、多くの人の手や機械等を使って手間をかけて「リサイクルできる物」と「できない物」とを分けるのが仕事ですので、当然ランニングコストが増大し、埋立処分費も増加するので、増えすぎるのも困ってしまうわけです。これは弊社だけでなく、この地域だけでなく、全国的に同時に起きているので、限られた最終処分施設を奪い合う現象が発生し、最終処分費が高騰。これを受けて私ども処理業者も値上げ、そして皆さんに跳ね返ってくるというわけです。この状況がいつまで続くのか分かりません。しかし、少なくとも今年は、弊社も含め廃棄物を適正に処理し、リサイクルできるよう維持するため、値上げは行われると思います。くれぐれも「値下げ営業」してくる処理業者にはご注意くださいと思います。どの業界にもいる「アウトサイダー」と疑ってもいいと思います。

現在、廃棄物処理法には、不適正な場合の責任を処理業者だけでなく、排出者に課すように記されております。万が一巻き込まれますと、多額の処理費だけでなく新聞等で公表される不利益処分を被る場合もあります。このように、一見わかりづらい廃棄物処理の世界ですが、実は私達の経済活動と密接に関わりがあることはご理解頂けたと思います。

#### 会員卓話 多田浩之会員

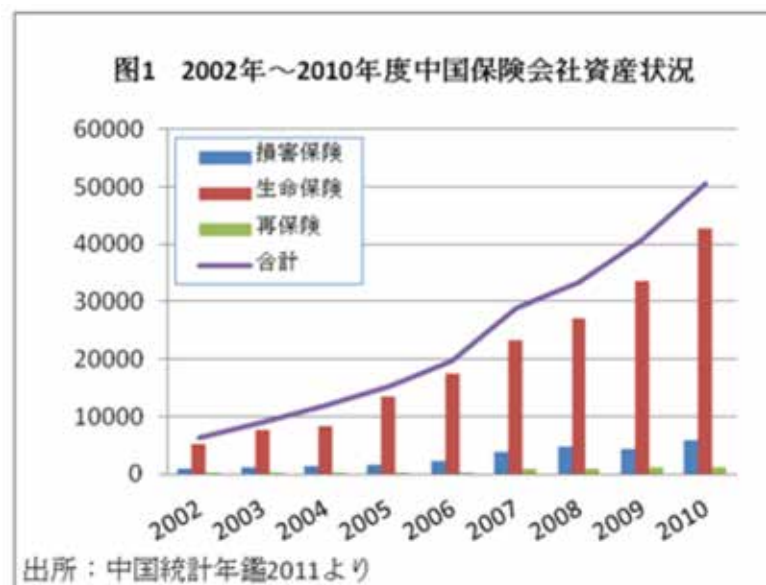


世界の保険会社の総資産ランキングです。 (2016年決算)

会社名	国名	総資産額
1 アクサ	フランス	9699億ドル
2 アリアンツ	ドイツ	9282億ドル
3 メットライフ	アメリカ	8779億ドル
4 ブルデンシャル	アメリカ	7573億ドル
5 中国平安保険	中国	7352億ドル
6 かんぽ生命	日本	6864億ドル
7 リーガル・アンド・ゼネラル	イギリス	5880億ドル
8 日本生命	日本	5862億ドル
9 アビバ	イギリス	5747億ドル
10 ブルーデンシャル	イギリス	5734億ドル
11 パークシャーハサウェイ	アメリカ	5522億ドル
12 ゼネラル保険	イタリア	5472億ドル
13 マニユライフ	カナダ	5079億ドル
14 AIG	アメリカ	4969億ドル
15 エイゴン	オランダ	4564億ドル
16 JA全共連	日本	4508億ドル
17 CNP	フランス	4305億ドル
18 第一生命	日本	4161億ドル
19 チューリッヒ	スイス	3819億ドル
20 中国人寿保険	中国	3777億ドル
21 明治安田	日本	3251億ドル

世界の保険会社概況ですが注目すべきは中国です。

グラフの中国保険会社の資産状況を見ると一目瞭然、すさまじい勢いで成長を遂げて来ています。この市場の伸びは他のランクインしている保険会社には無い強みです。経済は人口と密接に関連していますので、世界一の人口を抱える中国の保険会社は今後も注目して良いでしょう。



日本は保険大国です。国別ではアメリカのおよそ半分、世界2位の総保険料収入があります。ちなみに世界3位はイギリスです。そのため、外資から見ても魅力的で、日本市場には多くの外資保険会社が参入してきました。

日本企業のトップはかんぽ生命です。郵便局という安心感、国営時代の蓄積がものを言います。2位は日本生命です。資産運用会社としても盤石の実績を国内で重ねてきました。3位は全共連、JAです。農協の地域ネットワークを生かし、特に地方において絶大な営業力を持ちます。

日本は世界的に見ると中小規模の保険会社が多いので、今後引き続いて買収や合併劇が見られると思われま。日本は基本的には今後は縮小市場、成熟市場になります。日本人の保険好きは市場の拡大に大きく寄与しました。今後は利益の確保が課題になってきます。

今のところ、大きな保険会社はほとんど先進国か人口大国の企業です。今後はインドやインドネシアなど人口を多く抱える成長国での保険事業の伸長が見込まれます。それはこの20年での中国を見ても明らかです。

どこの保険会社も買収戦略が盛んです。有望な国の子会社を買収し、子会社を通して経営参加する。そういう形で世界展開を図っており、日本企業も含めて成長国戦略が注目される場所です。

■ 点 鐘

13 : 30

次回例会

1月29日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

・全員協議会「I.M.準備」